

令和8年2月6日

岡山県浅口市長 栗山 康彦 様

浅口市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会  
会長 中 村 良 平

浅口市まち・ひと・しごと創生総合戦略について（答申）

令和7年11月25日付け浅秘第191号で諮問のありました浅口市まち・ひと・しごと創生総合戦略について、当審議会において慎重に審議を重ねた結果、下記のとおり結論を得ましたので答申します。

記

## 1 第2期「浅口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の総括

- 浅口ブランド商品の認定数の増加を目指し、地元産品を活用した特産品の開発を積極的に支援するとともに、三ツ山レモンなどの新興作物をはじめとする新たな認定商品の開発を促進していくこと。
- 放課後児童クラブについては、地域ごとの児童数の増加に対応するため、今後も民間施設等を活用した運営を進め、待機児童ゼロを目指すこと。
- 移住・定住ポータルサイトの改善を検討し、時代に即した魅力的な情報発信を行うとともに、首都圏などの移住フェアへの参加を通じて、直接的なPR活動を強化し、移住希望者の増加に向けた施策を推進していくこと。
- 駅周辺だけでなく、減少傾向にある金光竹小学校区や鴨方西小学校区、寄島地区への対策も強化し、地域の特性を活かしたPR活動や道路整備を進めるとともに、アパート建設などの住宅地開発を促進し、市全体の住民増加を目指すこと。
- 他の自治体の状況を踏まえ、農振除外の申請機会を年2回に増やすことを検討し、円滑な開発を促すことで、移住促進を図ること。

○第2期の実績を踏まえ、地域ごとの課題に応じた支援強化や、移住・定住促進、学校施設の利活用について、検討を進めること。

なお、検討にあたっては、KPI 数値指標の見直しや、市民ニーズに即した積極的な施策を実施していくこと。

## 2 第3期浅口市創生総合戦略の変更点について

○事務局変更案に加え、「部活動の地域移行」に関する検討を進め、適切な対応策を追記すること。

## 3 令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）事業における効果検証

○KPI 数値指標の見方を明確にするため、指標設定方法について再度確認し、前年度比の増減が分かりやすい形式に改善すること。

○学校施設の老朽化を踏まえ、児童生徒の水泳授業においても熱利用施設が円滑に利用できるよう、移動手段としてバスの配備を行う等、カリキュラムや利用方法の整備を検討すること。

## 4 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）における寄附公表の制度概要について

○企業版ふるさと納税を積極的に教育分野に活用するよう方策を講じること。

以上